

サイト仕様書：稟議コード管理（SiteId: 160926）

- 取得元データ: [site-160926_latest.json](#)
- 取得日時: 2026-05-15T15:22:14（サイト更新日時）／設定バージョン Ver: 18
(SiteSettings.Version: 1.017)

1. サイト基本情報

項目	値
TenantId	1
Title	稟議コード管理
ReferenceType	Results
ParentId	63543（今回対象の10サイト群には含まれない外部の親サイト／フォルダ）
InheritPermission	160926（自サイトの権限設定を使用）
Publish	false（外部公開なし）
DisableCrossSearch	false
Creator	460
Updater	678
CreatedTime	2023-01-24T15:56:46
SiteSettings.Version	1.017

2. アクセス権限（Permissions）

種別	対象ID	権限レベル
Dept	8	7
Dept	56	7
Group	19	511
Group	27	7
User	460	511

※権限值はビットフラグの加算方式のため、正確な意味（閲覧／編集／削除等の組み合わせ）は環境のロール定義に依存する。Group 19・User 460 が511（管理者相当）、その他が7（一般的な閲覧＋作成レベル相当）という偏りが見られる。

3. 画面構成

3.1 一覧画面（GridColumns）

順番	列名（内部）	表示ラベル
1	ResultId	（標準ラベル） ID
2	Status	（標準ラベル） 状態
3	ClassA	エリア
4	ClassB	稟議分類
5	ClassC	稟議コード
6	ClassD	契約コード
7	ClassF	用件・物件名
8	Owner	申請者
9	DateA	申請日
10	UpdateTime	（標準ラベル） 更新日時

3.2 編集画面レイアウト（EditorColumnHash / Sections）

タブ「General」のみ定義。

順番	項目名（内部名）	ラベル名
1	Title	（標準ラベル） タイトル
2	ResultId	（標準ラベル） ID
3	Status	（標準ラベル） 状態
4	ClassC	稟議コード
5	_Section-2	ー（セクション「稟議コード取得」開始）
6	ClassA	エリア
7	ClassB	稟議分類
8	Owner	申請者
9	ClassD	契約コード
10	ClassE	派生コード
11	ClassF	用件・物件名

順番	項目名（内部名）	ラベル名
12	DateA	申請日
13	Comments	（標準ラベル）コメント
14	ClassX	ラベル未設定（Hide項目。ClassAの選択値を裏で保持）
15	ClassY	ラベル未設定（Hide項目。ClassBの選択値を裏で保持）
16	_Links-319015	ー（他サイト連携表示：SiteId 319015「新・稟議申請書」の関連レコード一覧を編集画面内に表示。詳細は「7. 他サイト連携」参照）

Sections配列:

Id	ラベル	AllowExpand	Expand
2	稟議コード取得	false	true

3.3 タイトル表示（TitleColumns / TitleSeparator）

TitleColumns: ClassC, Owner, DateA を TitleSeparator ” - ” で連結。

表示式: [ClassC] - [Owner] - [DateA] （例: 稟議コード - 申請者 - 申請日）

4. 項目定義（Columns）

列名（内部）	種別	表示ラベル	説明・入力ガイド	備考
ClassA	文字列（分類）	エリア	ラジオ選択（東京/愛知/千葉/熊本/静岡/特建事業部/不動産事業部/デザイン/その他）	NoWrap, ValidateRequired（必須），ExtendedHtmlAfterControlあり（注意書き、4.1参照），SearchType: PartialMatch
ClassB	文字列（分類）	稟議分類	ラジオ選択（白稟議/赤稟議/駐車場稟議/赤稟議(5万以下)/事前稟議/お客様返金稟議/社用車事故報告/自家用車事故報告）。選択肢ごとに表示色クラス（status-white等）が設定	ValidateRequired（必須），SearchType: PartialMatch
ClassC	文字列（分類）	稟議コード	自動採番。書式 [ClassX][ClassY]-[yy]-[NNNN]、年単位でリセット、初期採番値4500	NoWrap, ExtendedFieldCss/ExtendedControlCss: code-readonly（読み取り専用風の見た目），ExtendedHtmlAfterControlあり（4.1参照）

列名 (内部)	種別	表示ラベル	説明・入力ガイド	備考
ClassX	文字列 (拡張分類)	ラベル未設定	Hide項目。ClassAの選択値（数値コード）のコピー先。稟議コード自動採番の構成要素として使用	Hide: true
ClassY	文字列 (拡張分類)	ラベル未設定	Hide項目。ClassBの選択値（数値コード）のコピー先。稟議コード自動採番の構成要素として使用	Hide: true
Owner	ユーザー選択	申請者	—	NoWrap, EditorReadOnly（編集画面では読み取り専用）
ClassD	文字列 (分類)	契約コード	外部サイト（SiteId 61259）を検索して選択。表示書式 [ClassH] - [ClassJ] - [ClassO] - [ClassP]	UseSearch, NoWrap, GridDesign: [ClassD] [ClassE] , SearchType: PartialMatch, JsonFormat: true（詳細は7章）
ClassE	文字列 (分類)	派生コード	外部サイト（SiteId 64583/74927/72434の3サイト）を検索して選択	UseSearch, Link: true, SearchType: PartialMatch
ClassF	文字列 (分類)	用件・物件名	「契約コードまたは派生コードを選択すると自動的に邸名が入力されます」	ValidateRequired（必須）, FieldCss: field-wide
Status	状態	(標準ラベル) 状態	選択肢: 100=発行, 500=申請, 900=決裁, 910=取消（各ステータスに表示色クラス）	NoWrap, ExtendedControlCss: code-readonly2
DateA	日付	申請日	DefaultInput: "0"（新規作成時に当日日付が初期値）	EditorReadOnly（編集画面では読み取り専用）

上記のほか、GridColumnHash/EditorColumnHashに現れる **ResultId**（ID）, **Title**（タイトル）, **Status** のラベル未設定, **Comments**（コメント）, **UpdatedTime**（更新日時）はColumns配列に個別定義がなく標準ラベルのまま。

4.1 項目ごとの補足HTML（ExtendedHtmlAfterControl）

列名	色（style/classから読み取れるもの）	内容
ClassA	赤字（class: commentAdd red）	「※物件・案件に対応したエリアを選択すること※」
ClassC	赤字・小フォント（style: color:red; font-size:60%;）	「※自動採番」

5. 作成・更新権限（フィールド単位）

設定	対象列	権限レベル
PermissionForCreating	Owner	5
PermissionForUpdating	Owner	5

加えて `UpdateColumnAccessControls` により、`Status` 列の更新のみ Dept 8・56、Group 19 に限定されている（一般ユーザーはステータスを直接変更できない）。

6. 集計設定（Aggregations）

Id	GroupBy	Type	Target
3	Status	0	（空）
1	ClassA	0	（空）
2	ClassB	0	（空）

Type: 0 は件数集計（Count）と推定される。

7. 他サイト連携（Links / ルックアップ）

7.1 明示的なLinks設定

起点列	参照先 SiteId	参照先の値→自コピー先	JsonFormat
ClassD	61259	参照先サイト（61259）の <code>[ClassH] - [ClassJ] - [ClassO] - [ClassP]</code> を検索・選択し、選択レコードの内容をJSON形式でこのサイトの <code>ClassD</code> にコピーする	true
ClassE	64583	参照先サイト（64583）を検索し、選択結果をこのサイトの <code>ClassE</code> にコピーする	—

起点列	参照先 SiteId	参照先の値→自コピー先	JsonFormat
ClassE	74927	参照先サイト（74927）を検索し、選択結果をこのサイトの ClassE にコピーする	—
ClassE	72434	参照先サイト（72434）を検索し、選択結果をこのサイトの ClassE にコピーする	—

※SiteId 61259・64583・74927・72434 はいずれも今回対象の10サイト（稟議承認ワークフロー関連サイト群）には含まれない、別システムの「契約コード」「派生コード」マスタと推測される。

7.2 編集画面のリンク表示（_Links-319015）

EditorColumnHash.General の末尾に **_Links-319015** が定義されており、編集画面内に **SiteId 319015（新・稟議申請書）** の関連レコード一覧が表示される。これはPleasanterの「関連リンク（Links）」ウィジェットであり、319015側のいずれかの項目がこのサイト（160926）のレコードを参照していることを示す（319015のLinks設定は本仕様書の対象外のため、319015側のspec.mdで裏付けを確認すること）。10サイト間の明示的な連携として重要。

7.3 暗黙的なテーブル参照（ServerScripts/Scriptsのハードコード）

クライアントスクリプト **scripts/3_03.更新時の処理.js**（Script Id: 3）内で、**SiteId 319027（事前稟議一覧）** が直接ハードコードされている（`let targetTable = '319027';` および `url = '.../api/items/' + targetTable + '/upsert'`）。

- 動作: レコード更新後（**after_send**）に自身のAPIデータを取得し直し、**Title・Status・Owner・ClassHash・DateHash** を、**ClassC**（稟議コード）をキーとして SiteId 319027 へ **upsert**（挿入または更新）で複製送信している。
- これは正式なLinks設定には現れない、稟議コード管理（160926）→事前稟議一覧（319027）への一方向の暗黙的なデータ複製である。
- このスクリプトにはAPIキーとみられる文字列がソースコード中に2箇所ハードコードされている。値そのものは本書に転記しないが、セキュリティ上の懸念として「気になる点」に記載する。

7.4 ParentId

ParentId: 63543 は今回対象の10サイト

（319014/319020/319021/319027/335730/319017/319015/319022/319016/160926）のいずれにも一致しない。稟議コード管理サイトは、これら10サイトとは別の親（フォルダ的な位置づけの外部サイト）の配下に置かれている。

8. プロセス設定（Processes）

定義ファイル: [processes.json](#)

Id	Name・ DisplayName	実行条件 (CurrentStatus→ChangedStatus)	動作	成功 メッ セー ジ
1	取消 / 取消	100（発行）→ 910（取消）	実行可能者: Dept 8・56, Group 19。 実行後、通知（Type1）を送信：宛 先 [Owner]、CC [Updater], systemadmin@next-hd.co.jp、件名 「発行された稟議コードを取り消し ました」	発行 され た稟 議コ ード を取 り消 しま した

9. スタイル (Styles)

Id	Title	適用範囲	ファイル
1	readonly-font130%-bold	New, Edit	styles/1_readonly-font130%-bold.css
2	取消しグレー表示	Index	styles/2_取消しグレー表示.css
3	太字赤文字化	New, Edit, Index	styles/3_太字赤文字化.css

概要:

- Id1: `.code-readonly` を pointer-events無効・フォント130%・太字にする（読み取り専用に見せるための装飾）。`.code-readonly2` も同様にクリック操作を無効化。
- Id2: `.cancelCode` クラスの行背景をグレーにする（一覧画面で取消済みレコードを視覚的に区別。ServerScripts Id1と連動）。
- Id3: マークダウン内の `<strong>` タグを赤字にする（ガイド文の強調表示を目立たせる）。

10. スクリプト (Scripts) / サーバースクリプト (ServerScripts)

Id	Title	適用画面	ファイル
1	稟議コード生成	New	scripts/1_稟議コード生成.js
2	編集禁止処理	Edit	scripts/2_編集禁止処理.js
3	03.更新時の処理	New, Edit	scripts/3_03.更新時の処理.js

Id	Title	実行タイミング	ファイル
1	取消しグレー表示	BeforeOpeningRow	serverscripts/1 取消しグレー表示.js

概要:

- Scripts Id1（稟議コード生成）**: 新規作成送信直前（`before_send_Create`）に、選択済みの `ClassA`（エリア）・`ClassB`（稟議分類）の値をそれぞれ隠し項目 `ClassX`・`ClassY` にコピーする（`ClassC`の自動採番書式 `[ClassX][ClassY]-[yy]-[NNNN]` の構成要素として使用するため）。また `ClassD`（契約コード）または `ClassE`（派生コード）変更時に、他方の入力を無効化した上でAPI経由（`$p.apiGet`、7.1のLinks設定に基づく参照先サイトを辿る）で関連レコードを取得し、`ClassF`（用件・物件名）へ自動反映する。
- Scripts Id2（編集禁止処理）**: 編集画面読み込み時（`on_editor_load`）に `ClassA`・`ClassB`（ラジオボタン全選択肢）・`ClassC`・`ClassD`・`ClassE`・`ClassF` の入力を無効化し、実質的に編集不可（作成後は内容変更させない）状態にする。あわせて外部CDN（`cdnjs.cloudflare.com`）から `toastr.js` を読み込み、`ClassC`（稟議コード）の値をクリップボードにコピーする「Copy」ボタンを追加する。
- Scripts Id3（03.更新時の処理）**: レコード送信後（`after_send`）に自身のデータをAPIで再取得し、SiteId 319027（事前稟議一覧）へ複製データを `upsert` 送信する。詳細・懸念事項は「7.3 暗黙的なテーブル参照」を参照。ソースコード中にAPIキーらしき文字列がハードコードされている（値は本書に転記しない）。
- ServerScripts Id1（取消しグレー表示）**: 一覧行の表示直前（`BeforeOpeningRow`）に、`Status` が 910（取消）であれば `ExtendedRowCss` に `cancelCode` を設定し、Styles Id2のCSSと連動して一覧上でグレー表示にする。

11. その他設定

設定	値・状態
NoDisplayIfReadOnly	false
HideLink	true
AllowCopy	false（レコードのコピー作成を禁止）
SectionLatestId	2
GridGuide	設定あり（一覧画面上部に稟議コード発行に関する案内文を表示。発行ミス時の取消手順等）
EditorGuide	設定あり（GridGuideと同内容を編集画面にも表示）
CalendarGuide / CrosstabGuide / GanttGuide / BurnDownGuide / TimeSeriesGuide / AnalyGuide / KambanGuide / ImageLibGuide	いずれも未設定

設定	値・状態
Comments	EditorColumnHashに含まれており使用されている（コメント追記時にNotifications設定により通知が飛ぶ）
Notifications（レコードレベル）	Type1、Comments 列の変更を監視（MonitorChangesColumns）し、コメント追記時に [Owner], somu@eco-ntk.com, k.nogi@next-hd.co.jp 宛（CC: [Updater]、BCC: systemadmin@next-hd.co.jp）に通知

気になる点（レビュー観点）

- セキュリティ:** scripts/3_03.更新時の処理.js（Script Id 3）内にAPIキーとみられる長い16進文字列がソースコード直書きで2箇所存在する。クライアントスクリプトは画面のHTML/JSとしてブラウザに配信されるため、この形での秘匿情報埋め込みは第三者に閲覧され得る状態であり、漏えいリスクが高い。サーバースクリプト側での実行への切り替え、または資格情報の外部管理（環境変数・シークレットストア等）を検討すべき。
- 保守性:** レコードレベルのNotifications設定のCC/宛先に、役職名ではなく個人のメールアドレス（somu@eco-ntk.com, k.nogi@next-hd.co.jp）が直接ハードコードされている。担当者交代時に通知設定の更新漏れが起きるリスクがある。
- 暗黙的な依存:** SiteId 319027（事前稟議一覧）への複製送信がクライアントスクリプトの after_send イベントに依存しているため、ブラウザ側でJavaScriptの実行が妨げられた場合（通信エラー・スクリプトエラー等）、319027側にデータが反映されずサイト間の不整合が生じ得る。
- 権限の偏り:** Permissionsにおいて Group 19・User 460 が511（管理者相当）、他は7と、権限レベルの差が大きい。想定通りの設計か要確認。
- 外部CDN依存:** Script Id2で cdnjs.cloudflare.com から toastr.js を都度読み込んでおり、外部サービス障害時にはコピー機能のトースト通知が失敗する可能性がある（機能自体（クリップボードコピー）には支障しない）。
- ClassE用途の紐付け先が3サイトに分散:** ClassE（派生コード）は64583/74927/72434の3サイトを横断検索する設計であり、他の10サイト仕様書と合わせて全体像を確認する際は、この3サイトが「稟議」10サイトの範囲外である点に注意。